

執筆者紹介

いしだ とものぶ
石田 倫識 愛知学院大学准教授

〔主著〕「被疑者の黙秘権に関する一考察——イギリス黙秘権制限立法を手がかりに」九大法学86号（2003年）
「黙秘権保障と刑事手続の構造」刑法雑誌53巻2号（2014年）

いとう むつみ
伊藤 睦 三重大学教授

〔主著〕「検面調書の証拠能力——アメリカにおける証人による公判外供述に関する議論を手がかりとして」法学64巻2号（2000年）
「対質権と強制手続請求権を貫く基本理念」法学69巻5号（2005年）

くずの ひろゆき
* **葛野 尋之** 一橋大学教授

〔主著〕『刑事手続と刑事拘禁』（現代人文社、2007年）
『未決拘禁法と人権』（現代人文社、2012年）

さいとう つかさ
斎藤 司 龍谷大学准教授

〔主著〕『公正な刑事手続と証拠開示請求権』（法律文化社、2015年）
『刑事訴訟法講義案〔第2版〕』（法律文化社、2012年／共著）

ささくら かな
笹倉 香奈 甲南大学准教授

〔主著〕「刑事裁判の公開原則と被告人のプライバシー（1）（2）」一橋法学6巻1号・2号（2007年）
「刑事司法改革とは何か——法制審議会特別部会「要綱」の批判的検討」（現代人文社、2014年／分担執筆）

なかがわ たかひろ
* **中川 孝博** 國學院大学教授

〔主著〕『刑事裁判・少年審判における事実認定——証拠評価をめぐるコミュニケーションの適正化』（現代人文社、2008年）
『法学部は甦る！上——初年次教育の改革』（現代人文社、2014年）

ふちの たかお
* **淵野 貴生** 立命館大学教授

〔主著〕『適正な刑事手続の保障とマスメディア』（現代人文社、2007年）
「黙秘する被疑者・被告人の黙秘権保障」季刊刑事弁護79号（2014年）

まさき ゆうし
正木 祐史 静岡大学教授

〔主著〕『ケースブック心理臨床の倫理と法』（知泉書館、2009年／共編著）
「少年手続における二重の危険禁止保障（一）～（三）・（完）」静岡大学法政研究9巻2号・3号（2004年）・10巻1号（2005年）

みどり だいすけ
緑 大輔 一橋大学准教授

〔主著〕『刑事訴訟法入門』（日本評論社、2012年）
『刑事訴訟法理論の探究』（日本評論社、2015年／分担執筆）

（50音順／*は編者）